

3700 t 吊 関空連絡橋

西日本高速道路会社は、台風21号の影響でタンカーが衝突、損傷し、A1～P1が約1.5m、P1～P2が約4 m北側で多動し、今回同様に修



桁撤去台船積み込み状況

連絡橋の橋桁撤去を9月14日に完了した。

主桁などの損傷状況を確認し、7・8日に水深や毎トナリを調査した。

橋梁長寿命化の最新技術

東大で講習会開催

IPH工法協会

IPH工法協会(加川順一理事長)は9月10日、東京大学本郷キャンパスで「橋梁の長寿命化に関する講習会」を開き、約100人が参加した。

同協会はNPO橋守支援センター静岡(理事長 長山智則・東京大学大学院准教授)と連携しており、まず長山理事長が、東大で進めているインフラ性能評価の研究事例について講演した。

スマートフォンで簡単に構造物を計測、評価するシステムについて、ゴム支承の剛性や路面の凹凸、車両重量や過積載車の衝撃を推定した実証実験を報告。イタリアの落橋や中央道・笹子トンネルの事例を挙げ、構造物の軽微な事象から破壊モードを想像することの大切さを訴えた。



塩谷教授

長山准教授



金田事務局長

加川理事長

金田事務局長が、実際に調査、点検、補修に関わった個別事例を説明し、橋梁の適正な維持管

2間(長さ98 m、撤去重量約1120 t)、A1～P2間(90 m、1040 t)で行われた。橋桁はI型インフラシステム・堺工場と高田機工・和歌山工場にそれぞれ搬入された。損傷具合を詳細に調査し、来年ゴールデンウィークを目標に開通をめざす予定。



今田理事長

国土交通省近畿地方整備局長認可を取得した。これを機に、西日本を中心に全国の同業者に会員を広く、地場ゼネコンから相談のある小規模鋼橋工が大勢在籍している。これら経験と技術、特殊機材を武器としてアピールし、全国的にお役に立っていきたくて、意気込みである。

理を行うための問題点を述べた。塩谷智基・京都大学大学院教授は、「先端非破壊検査手法によるコンク

リート構造物の劣化評価について講演。NE XCO西、阪神高速、NEEDOのほか、一般企業と連携し、「AE(II材

料の変形や破壊の際に弾性エネルギーを音波として放出する現象、計測」を利用した構造物の非破壊による現状把握手法な

橋に咲く

就職先になじめない若者も多い中、「毎日会社に行くのが楽しくて」という入社2年目。京都橋大学に在学中は歴史遺産学科で学んだ。就活の際、父親から「メンテナンスの仕事はいい

素のままでも働ける

酒井工業

本社営業部

神原 有紀さん



ぞ」とアドバイスを受け、合同説明会で酒井工業のブースへ。それまで「この会社ならいける!」と接した幾つかの会社と

違ひ、「素の自分」のまま話せたことに驚いた。最初は経理・総務部に

配属されたが、仲社員長の推薦で営業部へ。現在は先輩社員に付いて入札公告の検索・応札や書類作成等に携わっている。業務内容を把握し、自ら行えるようになることが目標。工事の社員も気遣い、少しでも現場の助けになるよう、素早い対応を心がけています。学生時代はラクロスに打ち込んだ。アタック攻撃を任せられ、最終学年ではキャプテン。試合のリーダーにとどまらず、練習のメニュー組み立て、部費の管理、部の運



高野素十

素十(すじゅう)は、高浜虚子に師事した俳人。医学博士でもあった。虚子が唱えた客観写生の忠実な実践者として知られる。この句も、橋を2人が渡る風景を単純に切り取っただけに、何とも言

どを解説した。

最後に、加川理事長が、IPH(内圧充填接合部強化)工法の特徴である①空気と樹脂の置換②高密度充填③強度回復・耐久性向上④鉄筋防錆・中性化抑制⑤経済性の向上・環境対策について、数値を示しながら説明。橋梁等の長寿命化を目的とした施工事例も紹介した。